

定例プレスリリース（令和 8 年 7 月 21 日）

1. 酒田市総合計画審議会を開催します（企画調整課）
2. 黒森歌舞伎関連行事「衣裳虫干し」および黒森歌舞伎ポーランド公演に係る寄附金贈呈式を行います（文化政策課）
3. 寄附金の贈呈式を行います（商工港湾課）
4. 「水かけまつり in ひよりやま」を開催します（共生社会課）
5. ウィズ講座「あなたならどうする？避難所の困りごと」を開催します（共生社会課）
6. 市民健康講演会を開催します（健康課）
7. 寄附金の贈呈式を行います（農政課）
8. アスパラガス直売会を開催します（農政課）

定例プレスリリースは原則週一回、毎週月曜日に行います（月曜日が休日および祝日の場合は翌日）。次回の定例プレスリリースは令和 8 年 7 月 27 日（月）に行います。

●プレスリリースに関するお問い合わせ
総務課広報広聴係 中川
TEL 26-5706 FAX 26-3688
E メール koho@city.sakata.lg.jp

令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田市総合計画審議会を開催します

このたび、令和 10 年度からスタートする新しい総合計画の策定に向けて、酒田市総合計画審議会を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 本市の最上位計画である現行の総合計画の期間が令和 9 年度で満了することに伴い、令和 10 年度から 10 年間を期間とする次期総合計画を策定します。
- 本審議会は、市長の諮問に応じ、酒田市総合計画に関する事項について調査及び審議することを目的に設置し、今回は第 1 回目の開催となります。
- 市内の各団体（住民自治、経済、福祉など）から推薦いただいた計 16 人の委員で構成します。

日 時／7 月 30 日（木）午前 10 時～正午

場 所／市役所 3 階 第一・第二委員会室

内 容／市長あいさつ、委員の紹介、正副会長の選任、諮問、協議、その他

●お問い合わせ

企画調整課企画調整係 小山

TEL 26-5704 FAX 26-6482

E メール kikaku@city.sakata.lg.jp

令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

黒森歌舞伎関連行事「衣裳虫干し」および黒森歌舞伎ポーランド公演に係る寄附金贈呈式を行います

毎年恒例の黒森歌舞伎の関連行事である「衣裳虫干し」および黒森歌舞伎ポーランド公演に係る寄附金の贈呈式を行います。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

【衣裳虫干し】

神社の境内一面にロープを張り、黒森歌舞伎妻堂連中の衣裳約 500 点、カツラ約 50 点を虫干しします。

【寄附金贈呈式】

黒森歌舞伎保存会理事である仮設機材工業(株) 代表取締役 西村修氏によるポーランド公演に係る黒森歌舞伎妻堂連中への寄附金贈呈式を行います。

【衣裳虫干し】

日 時／8 月 2 日（日）午前 7 時～正午頃

※晴天時のみ

場 所／黒森日枝神社境内 演舞場

◆画像は昨年の様子です。



【ポーランド公演に係る寄附金贈呈式】

日 時／8 月 2 日（日）午前 9 時 30 分～

場 所／黒森日枝神社境内 演舞場

寄付者／仮設機材工業(株) 代表取締役 西村 修 氏

受贈者／黒森歌舞伎妻堂連中 座長 五十嵐 良弥 氏

寄付額／50 万円

◆ポーランド公演に関する詳細は別紙を参照してください。

●お問い合わせ

文化政策課文化財係 野村悠太

TEL 24-2994 FAX 26-6482

E メール bunkazai@city.sakata.lg.jp

黒森歌舞伎ポーランド公演概要について

1 事業目的

酒田市黒森地区に約 300 年にわたり受け継がれてきた伝統芸能「黒森歌舞伎」の保存・継承を図るため、少子高齢化や過疎化が進む地域における後継者育成と地域活性化を推進する。また、令和元年度に実施したポーランド公演により築かれた現地での認知度や交流基盤を活かし、再度ポーランドで公演を行うことで、黒森歌舞伎の魅力と価値を国内外へ広く発信するとともに、黒森地区及び酒田市の知名度向上と交流人口の拡大につなげることを目的とする。

2 事業実施場所

ポーランド国 ワルシャワ市

3 事業内容

(1) スケジュール

10 月 16 日(金) 黒森ー羽田ー成田よりワルシャワ市へ出発

10 月 17 日(土) ワルシャワ市到着

10 月 18 日(日) ワルシャワ大学にてリハーサル

10 月 19 日(月) ワルシャワ大学日本祭にて黒森歌舞伎公演

10 月 20 日(火) アジア太平洋博物館にて黒森歌舞伎公演

10 月 21 日(水) 現在公演先を調整中

10 月 22 日(木) ワルシャワ出発

10 月 23 日(金) 成田ー羽田ー黒森到着

(2) 事業内容

① 黒森歌舞伎公演

公演は、黒森歌舞伎の歴史と紹介(20 分)ワークショップ「歌舞伎化粧」(20 分)、演目「世響黒森歌舞伎(よにひびけ くらもりかぶき)」(20 分)の計 60 分で構成される。

②公演場所

ア ワルシャワ大学アジア・アフリカ学部日本学科

ポーランドのみならずヨーロッパでも屈指の歴史と規模を持つ日本研究機関です。1919年に日本語教育が始まり、100年以上にわたり日本語・日本文化研究の中心的役割を担ってきました。

イ アジア・太平洋博物館

ポーランド唯一のアジア・オセアニア文化専門博物館として1973年に設立され、約23,000点を超える収蔵資料を有する中東欧有数の文化機関である。同館はアジア諸国の伝統芸能や文化紹介事業を積極的に実施しており、日本文化の発信拠点の一つとして高い評価を得ている。

(3)事業効果

①担い手の育成

ポーランド公演の成果を活用し、帰国後に酒田市内の小中学校を対象としたワークショップを実施することで、児童・生徒が黒森歌舞伎の歴史や魅力、海外での評価に触れる機会を創出する。これにより、黒森地域の児童だけでなく、市内の幅広い世代が黒森歌舞伎に興味や関心を持ち、出演や運営への参加を促進することで、将来的な後継者の確保につながることを期待される。

②地域住民や関係者間の情報共有・発信

令和元年度に実施した初のポーランド公演は現地で高い評価を受けるとともに、県内外における黒森歌舞伎への関心を高め、正月公演や酒田公演への来場者増加につながった。本事業においても、公演終了後に報告書を作成し、関係機関への情報共有を行うほか、講演会や各種事業において公演成果を広く発信することで、黒森歌舞伎の認知度向上と地域内外の関係者との連携強化を図る。

③地域に残る文化財への理解・認識の促進

継続的なポーランド公演の実施により、ワルシャワ大学日本学科やアジア・太平洋博物館との交流が深まり、黒森歌舞伎を契機とした国際交流の発展が期待される。また、公演を契機としてポーランドからの来訪者の増加や交流人口の拡大が見込まれ、地域活性化につながることで、地域住民が黒森歌舞伎の文化的価値を改めて認識し、保存・継承活動への理解と参加意識の向上が期待される。

黒森歌舞伎ポーランド公演予算書(案)

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予算額	細目説明
自己資金	1, 400, 000	寄付金・団体負担
補助金	1, 100, 000	県補助金
合計	2, 500, 000	

(支出の部)

(単位：円)

項目	予算額	細目説明
旅費	2, 300, 000	旅費 1, 700, 000円 宿泊費 600, 000円
需用費	70, 000	チラシ・ポスター、化粧品等
役務費	100, 000	公演資材運搬費
借り上げ料	30, 000	公演資材運搬費
合計	2, 500, 000	

令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

寄附金の贈呈式を行います

このたび、酒田港風力発電事業者協議会、加藤総業(株)、コスモエコパワー(株)、ENEOS リニューアルブル・エナジー(株)より、寄附金をいただきます。

つきましては、寄附金の贈呈式を次のとおり行いますので、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○本市で風力発電事業を行う事業者より、港湾振興・港湾の賑わい創出や未来を担う地域人財の育成等に役立てていただきたいという趣旨で、寄附金をいただきます。

○寄附金については、みなとオアシスまつりの開催や数学分野で活躍する人財の育成（エキスパート数学塾）などに活用させていただきます。

日 時／8 月 3 日（月）午後 2 時～

場 所／市役所 4 階 第一応接室

寄附金額／200 万円

贈 呈 者／

酒田港風力発電事業者協議会 会長（加藤総業(株) 代表取締役社長）

加藤 聡 氏

コスモエコパワー(株) 代表取締役社長 社長執行役員

野倉 史章 氏

ENEOS リニューアルブル・エナジー(株) 常務執行役員

土井 聖 氏

市側出席者／市長、教育次長、商工港湾課長

●お問い合わせ

商工港湾課港湾・エネルギー振興係 藤井、石垣

TEL 26-5758 FAX 22-3910

Eメール kowan@city.sakata.lg.jp

令和8年7月21日

酒田記者クラブ加盟社 各位

「水かけまつり in ひよりやま」を開催します

このたび、異文化理解や国籍を超えた市民交流の機会を作ることを目的に、タイの正月行事である「ソンクラーン」を「水かけまつり in ひよりやま」として、どなたでも参加しやすい形で実施します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○ソンクラーンとは、旧正月を祝うタイのお祭りです。もともとは仏像や仏塔、年長者に敬意を込めて水をかけお清めをする風習でしたが、現在では暑い時期に水鉄砲などで水をかけ合うイベントが行われるようになりました。

○「水かけまつり in ひよりやま」は、タイの水かけまつりを酒田バージョンにアレンジしたイベントです。

日 時／7月26日（日）午前11時～午後2時（少雨決行）

場 所／日和山公園

内 容／・水かけまつり

・ブルックグルア（フルーツに唐辛子塩をつけるタイの食べ方）の試食

対 象／どなたでも

参加費／100円（就学前児童は無料）

申し込み／直接会場へ（入退出自由）

◆中止の場合は市ホームページと国際交流サロンのFacebookでお知らせします。

◆詳細は別紙チラシを参照ください。

●お問い合わせ

共生社会課男女共同参画・多文化共生係

（国際交流サロン）国際交流推進員 余語美香

TEL 26-5615 FAX 26-5617

Eメール kokusai@city.sakata.lg.jp

水かけまつり

in ひよりやま



誰でも参加OK

子供から大人まで
水かけまつりを楽しもう



フルーツに唐辛子塩！？
タイ流フルーツの食べ方
「プリックグルア」の試食

7/26(日)
午前11時～午後2時

場 所 日和山公園

参加費 100円

(タイ流のフルーツの食べ方「プリックグルア」の試食付き)

※就学前児童は無料

※小学生以下の参加は保護者の同伴が必要です。

お申込み 直接会場へおいでください(事前予約不要、入退出自由)

※中止の場合は、市ホームページとサロンのFacebookで
お知らせします。



市ホームページ



国際交流サロン
Facebook

お問い合わせ：酒田市国際交流サロン事務局
0234-26-5615 Email: kokusai@city.sakata.lg.jp

主催：酒田市国際交流サロン企画運営委員会・酒田市共生社会課

水かけまつり in ひよりやま とは？

ソングラーン（水かけまつり）とは、旧正月を祝うタイのお祭りです。もともとは仏像や仏塔、年長者に敬意を込めて水をかけてお清めをする風習でしたが、現在では暑い時期に水でっぼうなどで水をかけ合うイベントが行われるようになりました。

「水かけまつり in ひよりやま」は、タイの水かけまつりを酒田バージョンにアレンジしたイベントです。水でっぼうなどで水をかけ合って楽しみましょう♪

水かけルール

- ★着替用のテントがありますが、数が少ないので譲り合ってお使いください。
- ★荷物を預ける場所はありません。
- ★濡れてもよい格好でご参加ください。
- ★水かけエリアの外での水かけや、外に向けての水かけはしないでください。
- ★休憩や水分・塩分補給をして、熱中症に気をつけてください。

持ってくるといゝもの

- ★着替え、バスタオル
- ★熱中症対策として水分補給できるもの
- ★水でっぼう、バケツ、紙コップなど（数は少ないですが貸出もあります）
- ★耳せん、ゴーグルやサングラスなど
- ★スマホや貴重品を入れるジップロックやビニール袋など

中止の連絡について

小雨のときはやります。台風がきたり、荒天のとき、熱中症警戒アラートが出たときは中止です。

中止のときは、市ホームページと国際交流サロンのFacebookページでお知らせします。各自ご確認ください。



市ホームページ



国際交流サロン
Facebook



令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

ウィズ講座「あなたならどうする？避難所の困りごと」を開催します

このたび、標記講座を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 本講座では、実際に課題のある避難所を題材にしたグループワークを通して、男女共同参画の視点を取り入れながら多様な立場の人が安全・安心に過ごせる環境づくりに必要な気づきと実践力を養うとともに、気づいた人だけが対応するのではなく、多様な人が同じ視座で避難所運営に関わる重要性を学びます。
- 実際に被災地で起きた性被害やプライバシー問題について、被害が起きる構造を知り、適切な対応や配慮で予防できることを学びます。
- 日常にも役立つフェムテックや防災グッズについても学び、自分自身に合った防災準備を考えるきっかけになります。

日 時／8 月 2 日（日）午前 10 時～正午

場 所／交流ひろば 2 階 交流室

対 象／どなたでも（子どもとの参加も可能）

講 師／ゲンサイデイズ 細谷 真紀子 氏

内 容／・災害時に起きた事例の紹介

- ・グループワーク「この避難所、何が足りない？何が困る？」
- ・講師による解説（多様な視点の紹介、性被害やプライバシー問題、多様な人が関わる避難所運営の必要性）
- ・フェムテック用品・便利防災グッズの紹介

●お問い合わせ

共生社会課男女共同参画推進センター・ウィズ
小野、公平

TEL 21-0826 AX 26-5617

E メール kyousei@city.sakata.lg.jp

あなたならどうする？

避難所の 困りごと

～多様な視点で考える防災ワークショップ～



日時

令和8年**8月2日(日)**

午前 **10時** から **12時** まで

会場

交流ひろば2階交流室（酒田市中町3-4-5）

対象

どなたでも（お子さまとの参加も可、学生也大歓迎！）

定員

先着20名程度

参加費

無料

託児

定員3名：満1歳から就学前児童（無料）

※7/24（金）までウィズへ

講師 ゲンサイデイス
細谷 真紀子 氏

考える

この避難所、
何が足りない？何が困る？

これまでの災害時に見られた「避難所の課題」をもとに、

- ★ 困っているのは誰か
- ★ どんな危険があるか
- ★ どんな配慮や改善ができそうか

を見つけて、
自分だったらこうしたい！
を一緒に考えよう！

学ぶ

★ 最新の多様な視点・
人権の大切さを知ろう

★ 性被害や
プライバシー問題は？

★ 多様な人が関わる
避難所運営の必要性

★ 「支援する／される」
だけではない、
共につくる（共助）の
在り方と受援力

知る・備える

私らしく備える
“フェムテック防災”

★ フェムテックって？
災害時になぜ必要？

★ 実物を見て触れて、災
害時のことを考えてみ
よう！

★ フェイズフリーで自分
の暮らしに必要な備え
を考えてみよう

★ 防災グッズも多数紹介

お申込み

申込開始：令和8年**7月1日（水）** 正午から



上記二次元コードから、

または裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、ウィズまで郵送、メール、FAXまたは持参。
お電話でもお申込みを受け付けます。



講師紹介

- ・山形県自主防災アドバイザー
- ・避難生活支援アドバイザー（内閣府）
- ・山形市教育委員会委員
- ・全国女性会館協議会個人会員 ほか

防災・減災は、日常の暮らしのすべてに寄り添わなければいけない視点です。

だからこそ、危機管理の専門家を育てるだけでは、災害を乗り越え、暮らしを守り復興していくことはできません。だからこそ、今、社会に暮らす「すべての人々」の側に、それぞれの防災・減災の形がなければなりません。

子どもたちに「社会課題」というツケを残さず、誰もが自分たちで描く未来を生きるために、日々の暮らしの中に防災・減災意識を取り入れ、社会課題を減らすために『ここを育む防災・減災教育』に取り組んでいます。

この講座はこんな方におすすめです

- ✓ 防災について何から始めればよいか知りたい方
- ✓ 避難所で起こる困りごとや課題について学びたい方
- ✓ 自分や家族に合った防災の備えを見直したい方
- ✓ フェムテックや便利な防災グッズに興味のある方
- ✓ みんなが安心して過ごせる避難所づくりに関心のある方

FAX申込書

令和8年8月2日（日）開催 酒田市男女共同参画推進センター ウィズ講座
あなたならどうする？避難所の困りごと～多様な視点で考える防災ワークショップ～
《あて先》酒田市男女共同参画推進センター・ウィズ **FAX.0234-26-5617**

フリガナ 氏 名	連絡先（電話番号）	お住まいの市町村	年 代
			～20代・30代・40代 50代・60代・70代～
			～20代・30代・40代 50代・60代・70代～
			～20代・30代・40代 50代・60代・70代～

★託児を希望される方はご記入ください

託 児 希 望	
お子さんのお名前 （フリガナ）年齢	（ 才 ヶ月）
	（ 才 ヶ月）
※3人以上の託児を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。	

※いただいた個人情報は、本講座以外の目的では使用いたしません。



【お問い合わせ】

市共生社会課 男女共同参画推進センター・ウィズ
〒998-0044 酒田市中町3-4-5（交流ひろば内）
TEL：0234-26-5616 FAX：0234-26-5617
E-mail：kyousei-with@city.sakata.lg.jp

令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

「人間関係に揺れるこころのセルフケア」 市民健康講演会を開催します

このたび、東京家政大学 教授 杉山雅宏氏を講師に招き「市民健康講演会・こころのセルフケアセミナー2026」を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 酒田市の自殺者は 60 代以下の働き盛りの年代の割合が増加傾向（65%）にあります。その背景には健康、経済・生活、家庭、勤労等のさまざまな問題が関連しているといわれています。
- 働く世代に対してこころの健康に関するより一層の啓発を行うべく、今年度初めて、庄内こころ塾と協働による講演会を開催します。
- 庄内こころ塾は、産業カウンセラー等の有資格で組織する市公益活動登録団体です。
- 講師は、東京家政大学教授 杉山雅宏氏で、心理学を基に対人関係を円滑にするヒントをわかりやすくお話しいただきます。
- 本講演会で得た知識をより日常生活に生かすための基礎セミナーを 8 月～9 月にかけて実施する予定です。

日時／8 月 8 日（土）午後 2 時～4 時

場所／公益研修センター

対象／どなたでも（要申し込み）

内容／テーマ「人間関係に揺れるこころのセルフケア」

講師／東京家政大学教授 杉山雅宏氏



講師 杉山雅宏氏

●お問い合わせ

健康課成人保健係 鈴木智子

TEL 24-5733 FAX 24-5778

E メール seijinhoken@city.sakata.lg.jp

人間関係に 揺れる こころの セルフケア

ライフスタイルや価値観が多様化するなか
人との関わり方に悩んだり落ち込んだりしていませんか。
人間関係の疲労やストレスを軽減する処方箋、
それはこころのセルフケアです。

自分自身の感情のメカニズムを知ること
で円滑なコミュニケーションに役立つヒントを
見つけていきましょう。

今年度は東京家政大学教授の杉山雅宏氏の
講演会と車座トーク、庄内こころ塾による
全6回のセミナー・交流会を開催します。

講演会

8.8 sat

| 会場 | 公益研修センター

酒田市飯森山3丁目5番の1(東北公益文科大学キャンパス内)

| 時間 | 14:00~16:00

講演●心理学を学ぶ有用性と日常での役立て方

講師を囲んで車座トーク

参加は自由です

8.9 sun

| 会場 | 酒田市総合文化センター

| 時間 | 10:00~11:30

●疑問・質問など講師や受講生同士で気軽にお話ししよう

講師の紹介

すぎやま まさひろ

杉山 雅宏氏

東京家政大学教授

●人文学部：
心理カウンセリング学科
●大学院：
臨床心理学専攻／人間生活学専攻



日本電話相談学会常任理事、日本福祉心理学会常任理事、日本ヒューマンリレーション研究学会副理事長、荒川区役所職員相談室カウンセラー、日本臨床心理士会定例電話相談相談員

【資格】公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士・学校心理士スーパーバイザー・シニア産業カウンセラー・社会福祉士

【主な著書】『ほっと心構』(東京六法出版)、『自分心を鍛えよう』(東京六法出版)、『聴くこころ』(東京六法出版)、『生きる子育て法 不登校の子どもと共に』(悠々舎)、『自殺予防の処方箋 命つなぐケア』(そらの子出版)、『学校教育心理学 ―教育現場をよりよくするために―』(青山社)

| 定員 | 150名

受講無料／要申込

申込締切●8/2 定員になり次第締切らせていただきます。
定員に満たない場合は締切日以降も受付。

お申し込みはこちらから

お申込みの際は、お名前・お住まいの市町村名・ご連絡先(電話またはメールアドレス)と参加人数をお知らせください。
翌日開催の車座トークに参加される方は参加希望と明記してください。



お問い合わせ shonai.kokorojyuku@gmail.com
庄内こころ塾 ☎090-6689-2050
※電話受付時間：9時～19時
(不在の際は留守電へ。
折り返しご連絡します。)

酒田市健康課 ☎0234-24-5733

こころのセルフケアセミナー2026 × 市民健康講演会

主催 庄内こころ塾(酒田市公益活動団体協働事業) × 酒田市

後援 庄内保健所

働くも暮らすも心地よく、ごきげんな毎日を過ごそう!

多様化した現代に生きる人々の悩みの9割は対人関係と言われています。
何となく不安だ、気分が滅入る、やる気が出ないといった感情はこころのSOSです。
放っておくとこころの疲労はストレスとなり、日常生活に支障をきたしてしまいます。
今回、ストレスを和らげ、円滑なコミュニケーションを目指すセミナーを企画しました。

庄内こころ塾の会員講師が基礎的な心理学をひもとき、
今日から使えるセルフケアを解説していきます。

職場のマネジメント

各回 会場 | 酒田市総合文化センター



1回目

8/20 thu

18:30~20:00

●申込締切 8/17

組織が回るコミュニケーション

職場の組織はうまく機能していますか。組織マネジメントを円滑にしたい方、上司との関係につまずきを感じている方向けのセミナーです。



こころを整える

2回目

8/27 thu

18:30~20:00

●申込締切 8/24

マインドフルネスで自分と向き合う

過去の記憶や感情の支配、未来への不安にとらわれず、今の自分に意識を向けて、ストレスから遠ざかる方法です。まずありのままの自分を受け入れてみましょう。



我慢しない話し方

3回目

9/10 thu

18:30~20:00

●申込締切 9/7

おたがいに心地よい話し方

自分も相手もどちらも大切にする話し方はおたがいの理解を深め、穏やかなコミュニケーションへと誘います。思いやりの感情を持つての会話を試してみませんか。



仕事と生き方

4回目

9/24 thu

18:30~20:00

●申込締切 9/21

自分軸のキャリアを活かすレシピ

時代の変化に対応できる「私らしさ」「適応能力」といった材料から自分のレシピを知り、キャリアを通じて今後の生き方を考えるヒントを見つけてみませんか。

※内容は変更になる場合もございます。予めご了承ください。

参加無料
要申込

各回定員 20 名

希望の回のみ参加可能です

※交流会のみ参加もできます。

※但し各回ごとに定員になり次第締切らせていただきます。定員に満たない場合は締切日以降も受付。

お申し込みは「庄内こころ塾」まで



8/29 sat

交流会

14:00~15:30

セミナーでの知識の活用
や質問にお答えします。

●申込締切 8/27



9/26 sat

交流会

14:00~15:30

情報を共有したり、理解
を深めていきましょう。

●申込締切 9/24



庄内こころ塾とは

庄内こころ塾は山形県庄内地域に在住の産業カウンセラー、心理カウンセラーの資格者が集い、2017年1月に設立した任意団体です。心地よい日々を過ごすために市民の皆さまを対象に、一般向けの「無料カウンセリング」や「メンタルヘルス対策セミナー」の開催など社会貢献活動等を行なっています。

☎090-6689-2050 (専用電話)

※受付時間: 9時~19時

※電話不在の際は留守電へ。折り返しご連絡します。

✉ shonai.kokorojyuku@gmail.com



令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

寄附金の贈呈式を行います

このたび、東北メンテナンス工業・ヴェオリア・ジェネッツ共同企業体より、昨年度に引き続き、本市に対して寄附金を頂戴することとなりましたのでお知らせします。

贈呈式を以下の日程で行いますので、報道機関の皆様におかれましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 本市の下水道施設維持管理を手掛ける東北メンテナンス工業・ヴェオリア・ジェネッツ共同企業体より、鳥獣被害防止活動への支援を目的とした寄附金を頂戴します。
- 鳥獣の出没が増加する中、鳥獣被害対策実施隊員による被害防止の活動が目にとまり、人と鳥獣との共存を図ると共に地域社会の環境保全と住民のさらなる安全安心に貢献するため、寄附の申出をいただいたものです。
- 本市では、酒田市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会の推薦会員により構成される鳥獣被害実施隊を組織し、鳥獣被害防止対策を推進しています。

日 時／7 月 28 日（火）午前 10 時～

場 所／市役所 4 階 第一応接室

寄贈者／東北メンテナンス工業・ヴェオリア・ジェネッツ共同企業体
（東泉町 2-1-1）

出席者／東北メンテナンス工業・ヴェオリア・ジェネッツ共同企業体
総括責任者 伊與田 茂男 氏

代表企業 東北メンテナンス工業㈱ 取締役 市川 多美男 氏

構成企業 ヴェオリア・ジェネッツ㈱ 官需水 O & M 事業本部
東日本広域センター 統括部長 柴田 悟 氏

市側出席者／酒田市長 矢口 明子

酒田市鳥獣被害対策実施隊 後藤 亮光 氏／石塚 あゆ美 氏

寄附額／20 万円

内 容／目録の贈呈 等

●お問い合わせ
農政課生産振興係長 佐藤陽介
TEL26-5752 FAX 26-6483
E メール nosei-2@city.sakata.lg.jp

令和 8 年 7 月 21 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

アスパラガス直売会を開催します

このたび、夏に旬を迎える地元産アスパラガスの消費を後押しするためアスパラガス直売会を開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 夏は県外産のアスパラガスも多く出回る時期であり、その中でも地元産のアスパラガスを選んでもらうためのPRとして対面形式での直売会を開催します。
- アスパラガスの詰め放題と試食を通して、地元産アスパラガスの良さを知ってもらい、地産地消の推進を図ります。

日 時／7 月 31 日（金）午前 10 時～午後 2 時（売り切れ次第終了）

場 所／いろは蔵パーク 連絡通路脇

内 容／地元産アスパラガスの詰め放題・
試食

主 催／酒田市農林水産物消費推進協議会
（事務局：酒田市農政課）

後 援／「食の都庄内」ブランド戦略会議
（事務局：庄内総合支庁地域産業経済課）



●お問い合わせ

農政課総合農政係 齋藤晴奈

TEL 26-5792 FAX 26-6483

E メール nosei-3@city.sakata.lg.jp